

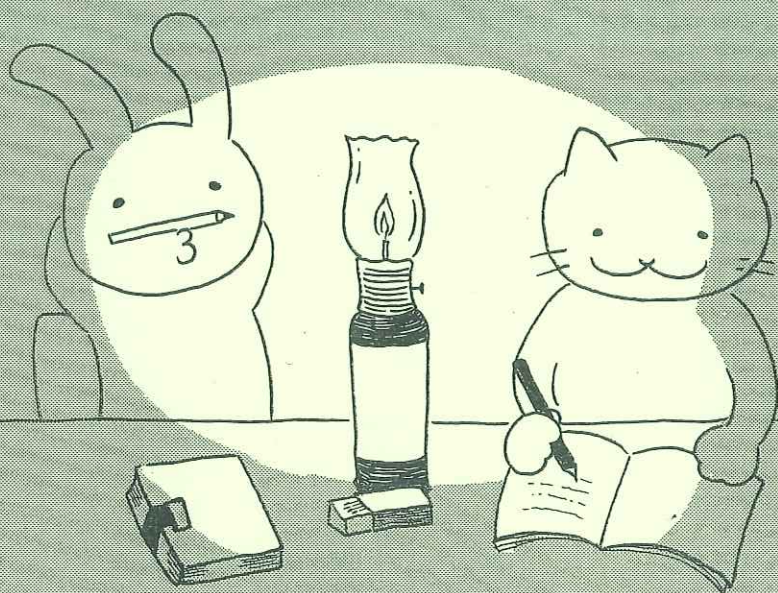
一般向け 今川図書館だより

いまがわーるど

2015年9月号

今月のテーマ

「日記」



今月の特集「日記」

今月は、日記体で書かれた物語やエッセイ、体験記などを中心に、日記に関する本を紹介します。

『或る「小倉日記」伝』

松本清張 著 1998年 新潮社 **BGM**

ミステリーの巨匠、松本清張の芥川賞受賞作品。明治時代の一時期、北九州の小倉市に住んでいた森鷗外の足跡をたどるため、一人の文学青年が鷗外の知己を訪ね歩く。そのすべてが無になる「小倉日記」が後に発見されることも知らずに。彼の努力は無駄だったのか。静かに問いかけるラストが素晴らしい。

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス 著 2015年 早川書房 **BRキ**

たどたどしく始まる、IQ30の青年の日記。「頭がよくなりたい、よくなったら友だちもできる」と普通の青年に憧れるチャーリーは、脳外科医ニールのすすめのもと外科手術を受ける。凄まじい知能を得た彼が、代わりに失っていったものとは。

『悪童日記』

アゴタ・クリストフ 著 2001年 早川書房 **BRク**

戦争が激しさを増し、双子の兄弟は、祖母の住む小さな町へ疎開をし、彼らの過酷な日々が始まる。人々は祖母を魔女と呼び、祖母は彼らを牝犬の子と呼ぶ。そんな境遇にも関わらず、たくましく生きる兄弟。そして彼らは非情な現実を日記に記す。ハンガリー生まれの著者が描く、シリアスな内容だが、ユーモアと痛快さがある作品。

『幕末下級武士の絵日記 その暮らしと住まいの風景を読む』

大岡敏昭 著 2007年 相模書房 **382オ**

小さな城下町（現埼玉県行田市）に、尾崎石城という下級武士がいた。彼の書き記した『石城日記』は、文久元年から翌二年までの178日間の生活を描いた絵日記として残されている。そこからは江戸時代の人々の付き合い、食生活、住まいなど具体的な生活の様子がうかがえる。その絵日記に著者が解説を添え、当時の武士たちの暮らしをひもとく。

『母の日記』

秋川リサ 著 2014年 NOVA出版 **916ア**

モデル、タレントで華やかな世界で活躍した著者。彼女が見つけた20年にもわたる母の日記には「娘なんて産まなければよかった」「面倒見てるからって偉そうに」と書かれていた。アメリカ軍人の夫と別れ、シングルマザーとして生きなければならなかった母。母の認知症介護を通じて、介護の現場、地域との人間関係、行政の高齢者対策の歪みを浮き彫りにする。介護と家族の在り方、生き方とは…。

『ペコロスの母に会いに行く』

岡野雄一 著 2012年 西日本新聞社 **916.2オ**

無名の漫画家と、施設に暮らす認知症の母。ゆっくりゆっくり症状が進む母を見つめる、温かく笑えて少しせつない日々を綴った物語。薄い頭髪を見て、息子の名前を思い出すエピソード、夫が亡くなったことを忘れ、見えない夫と話す母。人生の重荷をおろしたような母のとびきりの笑顔に「忘れること、ボケることは悪いことばかりではない」と著者は言う。2013年のコミックエッセイ。

YA におすすめ!

職場体験にきた天沼中学2年生の生徒さんおすすめの本
中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します

『アバター』

山田悠介 著 2009年 角川書店 ヤ222

主人公の阿武隈川道子は、クラスを仕切るいじめグループのリーダー阿波野に嫌がらせをされていた。阿波野の命令で、とあるSNSのサイトへ招待された彼女は奇跡を起こす。一度得た快感をもっと味わいたいと思うようになった道子は、犯罪に手を染めてしまう。罪を犯してまで女王の座に居続けた道子はやがて…。

『だいじな本のみつけ方』

大崎梢 著 2014年 光文社 913オ

最初のきっかけは一冊の文庫。本が好きな主人公の野々香は、校内に誰かが忘れた本を見つけ、好奇心からブックカバーを外した。それはまだ発売されていない、野々香の大好きな作家の新刊だった。彼女は本の持ち主を探し始める。大切な本との思い出や、みんなが一つになる空間を描く、にぎやかでやさしい物語。

新着本コーナー

最近今川図書館に入った本から、お勧めの本を紹介します。
(新着コーナーにあるものもあります)

『SNSって面白いの? 何が便利で、何が怖いのか』

草野真一 著 2015年 講談社 A (ブルーボックス)

テレビのニュースや新聞記事の中で、頻繁に名前が出てくるSNS。使った事が無い人にとっては、何だか良くわからないけれど、新しいものという印象かもしれません。SNSの利便性や危険、そして可能性を、事例を示し紹介する本書。疑問に思っていた事や、家庭で子どもとスマホやSNSについて話し合う時の手助けにもなる一冊。

『女装して、一年間暮らしてみました。』

クリスチャン・ザイデル 著 2015年 サンマーク出版 946サ
例えばハイヒールやストッキングをはき、男性が女性として過ごす生活をしたら、どのような変化が生じるのだろうか。自身の身体で数々の女性の日常を体験した著者が、男性の中に潜む女性らしさを綴る。

『100万分の1回のねこ』

江國香織 著 2015年 講談社 I025

佐野洋子の名作絵本『100万回生きたねこ』に愛を込めて、谷川俊太郎、江國香織、岩瀬成子、くどうなおこ他、総勢13人が捧げるトリビュート短篇集。

『江戸川乱歩傑作集 2』

江戸川乱歩 著 2015年 リブレ出版 I007

江戸川乱歩の傑作短編が6本入った、贅沢な新装版。完全犯罪をめざして屋根裏を這う男。椅子に潜り込んで美女が座るのを待つ男。絵の娘に焦がれて絵の中に入った男。彼らの運命に陶酔あれ。

第20回 グループ読書のお誘い

〈ちいさいおうち文庫共催〉 テーマ： 神沢利子
今回の読書会は、神沢利子さんの児童文学作品をテーマに
意見交換を行います。

主な作品は、『くまの子ウーフ』『ふらいぱんじいさん』など。
お好きな作品を読んでご参加ください。
初めて参加の方もご気軽にどうぞ。

日時 9月28日(月) 10:00~12:00
場所 2階 多目的室
申込方法 今川図書館のカウンター、または電話でお申込み下さい

リサイクル雑誌について

保存期間の過ぎた雑誌を、皆様にリサイクル本として
毎月提供しております。
9月の予定は9月15日(火)です。

場所 1階ガラスケース横
お一人様、5冊まで



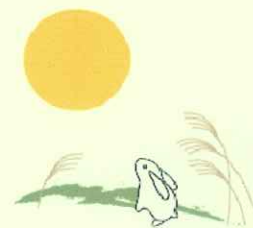
秋の自殺予防月間特別展示

~こころ ゆるり~

杉並区では9月は自殺予防月間です。
毎日の忙しい生活でストレスは溜まっていませんか？
こころが安らぎ、リラックスできる本を展示します。

期間 9月8日(火)~23日(水)

場所 1階 展示棚



みどりの特別展示 テーマ「実りの秋」

気づけば日もだんだんと短くなり、秋の訪れを
感じる季節になってきました。夏の酷暑の後には、
過ごしやすい秋の季節がやってきます。
秋ならではの季節を感じられる本を展示します。

期間：9月8日~12月6日

場所：1階入口脇テーブル





9月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				おはなし会		
6	7	8	9	10	11	12
	休館日			おはなし会		
13	14	15	16	17	18	19
	おはなし会			休館日		
20	21	22	23	24	25	26
	おはなし会			おはなし会		
27	28	29	30	31		
おはなし会・グループ読書		赤ちゃんおはなし会				
開館時間 月～土9時～21時 ○の日(日曜・祝日)は9時～17時 休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については児童向け図書館だよりをご覧ください

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431